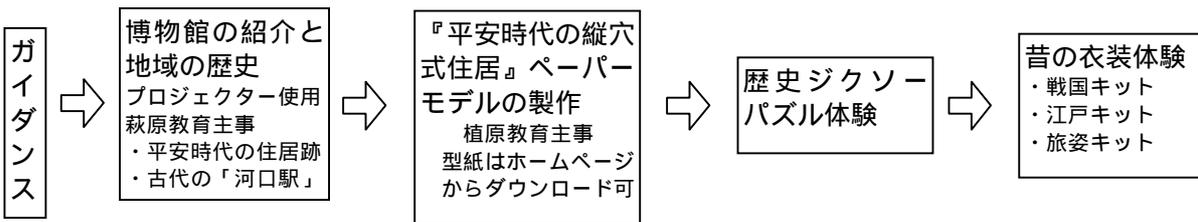


P T A 親子ふれあい講座で出前授業を活用

河口湖北中で毎年 PTA と共催で行っている親子ふれあい講座の 1 講座として、博物館の『出前授業』を活用した『博物館講座』を開催することにした。

事前 博物館との打合せはメールや電話で行った。講座受講希望の生徒と保護者に、内容や持ち物について連絡しておいた。

当日の流れ



今回の講座の内容

プロジェクターを使って、博物館の概要と地域の歴史について講義。地域の歴史は、古代の道の河口の駅について説明した。



A 4 のコピー用紙にプリントした型紙を切り抜いて、のりで貼っていくと、平安時代の竪穴式住居が作れるキット(当館オリジナル)。カッターやはさみはあらかじめ用意してもらった。



歴史ジグソーパズルも当館オリジナル。歴史的な絵図などをパズルにして、遊びを通じて歴史に親しんでもらおうというもの。



生徒たちは昔の衣装を試着して、だいぶ盛り上がっていた。よろいかぶとはサイズが小さいため、体の小さな生徒でないと着れなかった。



事後 国語の時間を活用して、礼状を書く授業を行った。生徒は、とくに竪穴式住居のペーパークラフトが楽しかったようだ。

一言 本校で毎年行っている親子ふれあい講座の 1 つとして今年度新たに博物館講座をお願いした。受講した全ての保護者・生徒が有意義だったと答えており、「とても楽しかった」と多くの感想が寄せられ、とてもよい会となった。
(河口湖北中 村松 朗)